スポーツ愛ランド
ユイといやしの里
2022 3
No.526 令和４年

広報あまぎ

思い出を胸に、次の道へ

写真：天城中学校卒業生

令和4年度施政方針

令和4年第1回天城町議会定例会が3月8日に開会し、森田弘光町長が令和4年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

はじめに

本日、令和4年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる令和4年度予算案を申し上げ、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルスの第6波、オミクロン株の急拡大が年明けから続いております。町民の皆さまにおかれましては、長期にわたり新型コロナウイルスとの闘いを強いられており、それぞれに大変な思いをされているかと存じます。

そして、今なお最前線で対応に当たっている医療関係者の皆さまのご労苦に対し、敬意を表すると共に、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は町制施行60周年を迎え、新型コロナウイルスの感染症対策として人数を制限してではありましたが、記念イベントや記念式典を開催することができました。

これまでの町政40年、50年と異なるのは何か、と考えた時、それは私達が「新型コロナウイルス」を経験したということだと思います。これまで私達人類が築いてきたものすべてを一変させました。経済、普通の生活すべての関係が壊れ、再構築が迫られています。令和4年度（以下、本年度）も、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、臨時交付金）を活用して、消費拡大による商工業者の支援や、集落支援、農家支援等に努めてまいります。

このような中で天城町の進むべき羅針盤となる第6次天城町総合振興計画（AMAGI-VISION）を策定いたしました。そのAMAGI-VISIONでは、「Reborn（再生）」という基本概念のもとに、sustainable（持続可能な）社会を目指し、向こう10年の事業・施策を着実に進めていくこととしております。

ここで万葉集から舒明天皇の「国見の歌」を紹介いたします。

〝天の香具山／登り立ち　国見をすれば／国原は　煙り立ち立つ／海原は　かまめ立ち立つ／うまし国そ／あきづ島　大和の国は〟

「天の香具山に登って国をながめると、広い平野の家々にはかまどから煙が立ち上っている。平和で素晴らしい国だ。この大和の国は。」という内容です。この歌が詠まれた飛鳥時代においては、国土を讃える歌をうたうことで、豊穣繁栄、健康長寿が叶うとされていました。

行政をあずかるものとして、このような和歌の心を持って、「大和の国は」を「天城の町は」に読みかえ、「本当にすばらしい町だ。この天城の町は」つまり「住んでよかった。暮らし満足度NO.1のまち」を目指し、町民と共に働いていく、そういう思いでおります。

町政の舵取り役を賜って4年目。私のモットーであります「先ず隗より始めよ（率先垂範）」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有し、「変化を恐れず動き出す」ことを常に意識しながら町民サービスの更なる向上に努めてまいります。

〝天城町の心はてぃーち〟。心を一つにして、共にがんばりましょう。

以下、重要施策につきましてご説明申し上げます。

❶ 安定した雇用を創出する

（1）農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上

本町の農業につきましては、台風などによる気象災害や市場価格に大きく左右されるところでありますが、全般的には、農家の皆さまのたゆまぬ努力により、足腰の強い農業が展開されていると実感しております。

昨年12月に策定いたしました3次天城町農業ビジョンで掲げた「楽しい農で目指せ楽農!!　目指せ45億!!」を合い言葉に、本町農業の課題解決と持続可能な農業経営を進めてまいります。

また、世界的に温暖化対策への意識が高まっている中で農業の果たす役割は大きなものがあります。基幹作物でありますさとうきびは熱帯地方での作物の光合成能率の高い特有の反応経路をもつ植物群、いわゆるＣ４（シーよん）植物として地球温暖化の原因物質・二酸化炭素を吸収する機能が他の植物に比べて高いと言われており、地球温暖化防止に大きく貢献しております。

そのようなさとうきびでございますが、今期産は台風等の気象災害もなく品質面においては期待できるものの、生産量の見込みが本町で６万４千１百トン、徳之島三町では約17万５千トンと前期産の実績を下回る予想となっております。次期産への対策として、徳之島さとうきび農作業受委託調整センターの機能強化と活用推進、国の補助事業を活用した営農集団への計画的な高性能農業機械の導入支援、夏植えの推進に取り組んでまいります。

また、単収向上や増産に繋がるよう、難防除雑草への対策や土づくりの推進、可動式誘殺灯による病害虫対策等、さとうきびが安定して生産されるよう関係機関と取り組んでまいります。

肉用牛につきましては、コロナ禍にもかかわらず、依然として高値で推移し、自家保留・導入奨励事業の効果もあり順調に規模拡大・増頭が進み、令和３年末における繁殖雌牛頭数は４２００頭を超えました。

本年10月には５年に一度開催される全国和牛能力共進会が本県において開催されます。全国の優秀な和牛が集う大会を契機に更なるスキルアップに繋がることを期待しております。

本年度も引き続き、畜産クラスター事業と町単独事業で作業の省力化と規模拡大を推進し、生産性と収益性の向上に取り組んでまいります。

規模拡大により課題となっているふん尿処理ですが、有用な有機物肥料として活用を促すため、新たに町単独事業として堆肥舎等施設整備事業を行います。また、昨年度開始しました死亡獣畜処理対策事業による助成も併せ、引き続きふん尿、死亡獣畜の適正な処理へ向けた啓発を行ってまいります。

ばれいしょにつきましては、全国的な供給量不足により高単価で推移していますが、種子不足や植付け後の干ばつ、病害の影響などにより収穫量が減少傾向にあるため、単収向上及び面積維持が課題となっております。

そのため、臨時交付金を活用し、種子消毒及び植付後の消毒薬助成を行い、病害予防と供給力の強化支援に繋げてまいります。

また、植付機、堀取機、穴堀機などの導入助成に加え、労働力不足への対応としてドローンによる薬剤散布助成など、作業省力化へ向けたスマート農業にも取り組んでまいります。

実えんどうにつきましても、令和３年度に引き続き、臨時交付金を活用し資材助成の拡大や、生産の維持、供給力の強化支援に繋げます。

その他、園芸作物全般の技術向上へ向け、関係機関や農業センター等による営農指導を行ってまいります。

また、果樹の主力品目であるマンゴー、パッションフルーツへの取り組みとして、品評会を開催し品質の高位平準化を目指します。

担い手の確保につきましては、２０２０農林業センサスによる本町の農家戸数は７７３戸と５年前より１６５戸減少し、年齢別農業従事者数における65歳以上の割合も43・３％と３・２ポイント高齢化が進んでいる状況です。そのため、農業センター研修制度や指導農業士による指導等を通じて人材の確保・育成に取り組むと共に、人・農地プランや農地中間管理事業の推進により、担い手への農地の集積・集約化を進めてまいります。

また、女性農業者の参画、高齢農業者の知識や経験の伝承、農福連携など地域の農業を支える人材の確保に取り組んでまいります。

更に、経営体育成や農業法人化の推進、青色申告会及び収入保険制度への加入促進による経営の安定化を図ります。

食育・地産地消につきましては、本町の食の魅力を再発見し、多彩な食文化と豊富な農畜産物を生かしてまいります。

学校における教育ファームや親子料理教室を通じて食と農への理解を深め、地元産食材及び郷土料理を取り入れた学校給食の充実を図ってまいります。

「あまぎ自然と伝統文化体験館」内の直売所整備に向け、農産加工による新商品開発や既存商品への支援、地元産農産物を中心としたマルシェの定期的な開催で農業者と消費者との交流を促進します。

また、天城町の農産物の魅力をＰＲするため、ＳＮＳによる情報発信を進めてまいります。

農業センターにつきましては、農業研修制度を活用し担い手・新規就農者の確保に努めてまいります。また、農業塾や技術セミナーを活かした野菜や花づくりの実践

と、苗もの市の開催で活発な家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保を推進してまいります。

土づくりにつきましては、土壌分析装置の更新を行い、土壌診断に基づく土壌改良資材投入による地力の増強に取り組みます。併せて、堆肥や緑肥等の有機物施用、施肥量の適正化等、温室効果ガスの削減に向けた取り組みについても推進してまいります。

鳥獣被害対策につきましては、イノシシの食害による農作物被害は減少しているものの捕獲頭数は横ばいの状況にあります。

令和３年度に天城町鳥獣被害対策実施隊による防護柵の点検を行いました。本年度から特に破損が著しかった箇所やイノシシ被害の多い地区の破損箇所を優先に補修等を順次進めてまいります。

また、「山猪工房あまぎ」における猪肉は、ふるさと納税や島内外への販売で需要が増しております。そのため、捕獲方法や買取り基準の見直しを行い、買取り頭数を増やしてまいります。

林業につきましては、島内産材の普及と利用促進に努めてまいります。松くい虫被害は減少しておりますが、引き続き枯損木の伐倒、樹幹注入を実施し、その保護に努めてまいります。

特用林産物の生産について、「シイタケ類」の産地化に向け、普及に取り組んでまいります。

林道の維持管理につきましては、森林整備における通路としての役割の他、災害時の迂回路としての機能等を有するため、定期的な除草・伐採作業を実施してまいります。

水産業につきましては、漁業者の所得向上を第一に考え、現在整備中の６次産業化施設を活用した魚類の安定的な買取り、高付加価値化を目指します。

また、町単独で行っております水産業活性化推進事業では、若い世代の組合員の参入が増えつつあるので、経営規模の拡大も視野に入れながら今後も支援してまいります。

農業基盤整備につきましては、天城町畑かん営農ビジョンを基に、関係機関並びに畑かん推進員と協力をしながら、その基盤整備に取り組んでまいります。

現在進めております８地区の県営畑地帯総合整備事業により畑かん68ｈａ、区画整理４ｈａで、ほ場整備率は85・３％になる見込みです。支線についても４・２ｋｍの事業を実施してまいります。なお、徳之島ダム受益地の散水可能予定面積は、令和４年３月末時点で４００ｈａ、進捗率は29・７％となる見込みです。

また、県営畑地帯総合整備事業の未精算事務につきましては、現在33地区のうち７地区が完了しました。引き続き未完了地区の清算事務に取り組んでまいります。

農道及び水路整備につきましては、農業基盤整備促進事業中部地区においては、残る浅間の農道１８０ｍ、北部地区では農道２７０ｍ、排水路１５０ｍ、南部地区では農道５００ｍ、排水路50ｍの整備を進めてまいります。

また、農業・農村活性化推進施設等整備事業（大津川地区）においては農道３００ｍの整備を行ってまいります。

南部ダム畑かん施設は、経年劣化により機能低下が生じていることから、ストックマネジメント事業を進めております。また、末端施設につきましても、農業用水の供給に支障をきたしていることから、事業計画を策定し、施設の適正な維持管理に取り組んでまいります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、本年度も、農地、農道、水路、沈砂池等の維持管理活動を実施し、また、広域組織は新たな活動として施設の長寿命化活動を実施してまいります。

地籍調査事業につきましては、34・08％の進捗率となっております。令和４年度は、当部・西阿木名（三京）の新規・継続合わせて55ｈａを進めてまいります。

（２）新たな事業創出と観光産業の振興

平土野地域の活性化につきましては、引き続き平土野地区起業家支援事業や平土野地区活性化基金活用事業を活用した新たなチャレンジの支援や、天城町農泊推進協議会と連携したにぎわいづくりに努めてまいります。

平土野活性化事業として、地権者のご協力のもと、商店街の中の駐車場舗装整備を実施いたします。また、ポケット公園前から役場下までの歩道のカラー舗装を実施いたします。

平土野港多機能港湾新設に向けた取り組みにつきましては、新型コロナウイルスの影響により充分な活動ができておりませんが、平土野港多機能港湾新設期成同盟会の皆さまや町議会議員の皆さまと連携し、国・県への要望活動を強力に展開してまいります。

商工業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きなダメージを受けたところであります。臨時交付金を活用し、商工業者の皆さまへ支援してまいりましたが、本年度も国や県と連携し、緊急支援事業等を行い、事業継続支援に取り組んでまいります。

長引くコロナ禍で経済的に打撃を受けた町内商工業者の支援及び町民の生活支援を目的に、本年度も臨時交付金を活用して天城町商工業応援商品券「むーるしきばらーでぃ商品券」第三弾を実施いたします。

また、引き続き町単独事業として、プレミアム商品券補助事業実施し、町内における消費購買の拡大を図ります。

マイナンバーカードの交付状況につきましては、令和4年1月1日現在、国が41％、鹿児島県が38・5％、天城町が28・9％と低い割合となっております。

引き続き広報誌やＡＹＴ文字広告での周知、窓口での申請サポートを実施するほか、特定健診会場等での出張申請受付を行ってまいりますので、多くの町民の皆さまのマイナンバーカード取得をお願いいたします。

また、引き続き令和4年度マイナポイント事業第2弾を実施するなど、キャッシュレスの推進に取り組んでまいります。

観光業につきましては、世界自然遺産に登録され観光客の増加が見込まれるため、天城町14集落の案内看板を作成します。観光地連携整備事業で大和城バンガローを整備してまいりました。観光客は勿論ですが、町民の皆さまの自然体験や憩いの場として活用していただきたいと思います。環境に配慮した整備を心がけると共に人と自然が共生する癒しの観光地づくりを継続して進めてまいります。

あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、年次的に整備を行ってまいります。徳之島の豊かな自然や島唄、踊り、闘牛などの伝統文化の魅力や徳之島ならではの特産品や農産物販売、観光情報を効果的に発信できる施設として整備してまいります。

闘牛大会は勿論ですが、コンサート会場など若い人たちのイベント開催に利用できる、『稼げる施設』を目指します。そして、Ｂ＆Ｇ海洋センターや総合運動公園とも連携し、伝統文化体験やスポーツに限らず様々な場面で人と人をつなぐ機能を持たせ、異なる価値観が出会う場所にしたいと考えています。

トライアスロンＩＮ徳之島大会につきましては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続の中止という残念な結果となっております。２０２２年第35回大会開催に向けて、これまで以上に工夫をこらしながら、「スポーツ愛ランド徳之島」を広く島外に発信してまいります。

日本初の総合アウトドアメーカーである「モンベル」の１０３万人を要する会員組織に、フレンドタウンとして加入し、トライアスロンは勿論のこと、天城町の特産品や観光情報等の魅力を発信することで天城町を広くＰＲし、誘客につなげてまいります。

スポーツ合宿誘致につきましては、多様な分野への経済波及効果があります。これまで合宿を行ってきたスポーツチームとの繋がりを大切にすると共に、新規開拓を行うなど、年間を通して誘致活動を行い、天城町のスポーツ合宿を通した活性化を図ってまいります。

「燃ゆる感動かごしま国体」トライアスロン競技につきましては、令和5年10月の本町開催に向けて準備を進めてまいります。松原漁港を中心としてトライアスロン競技が開催されますが、万全な体制の構築、気運醸成を図るなど、準備を進めてまいります。

令和元年から徳之島と大阪（伊丹）を往復する臨時便が年末年始及び夏休み期間に就航しております。今後も、引き続き国・県・航空会社等への定期的な直行便就航の要請活動を行ってまいります。

併せてクルーズ船誘致につきましても、世界自然遺産登録地であることを最大限に生かし、徳之島天城町の魅力を世界に発信できるよう、積極的な誘致活動を行ってまいります。

❷ 新しい人の流れをつくる

（1）ふるさと創生

新型コロナウイルス感染症が長期化したことで生活様式が変容し、様々な場面でデジタル化やオンライン化が進んでおります。そのため本町も、関係人口や〝天城町ファン〟の協力を得ながら、「おいでよ！魅惑のアマパゴス　ワーケーション事業」など企業の地方分散に対応できるよう体制を整備してまいります。

移住・定住の促進につきましては、移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）によるＳＮＳ等での積極的な移住情報発信を行ってお

り、令和3年度は移住・定住に関する問合せ件数が164件ありました。

コロナの影響もありましたが、それでも実際に山海留学併せて10世帯19人の方が移住いたしました。

これからもワンストップ移住相談窓口の体制強化と移住情報ウェブサイトを活用し、多様な移住ニーズの把握と移住希望者に寄り添った支援を行ってまいります。また、大都市圏での移住フェア等に積極的に参加、PR活動を実施し移住人口の増加に努めてまいります。

空き家対策につきましては、令和3年度は、11件の空き家バンクの登録、9件の空き家改修費補助を実施いたしました。今後も空き家の有効活用を促進すると共に、町ホームページなどで広く空き家情報を提供し定住者の増加に繋げてまいります。また、天城町空家等対策計画に基づき空き家・廃屋などの適正管理を啓発してまいります。更に、国の空き家再生等推進事業を活用し危険家屋の撤去を進めます。

ふるさと納税につきましては、ふるさと納税ポータルサイトの増設などにより、総額1億円を越えるなど順当に伸びてきております。あらためてご寄附を下さった皆さまへ心からお礼申し上げます。頂いたご寄附をもとに、本年度も各保育所への備品購入や観光施設の整備を実施いたします。また整備した実績につきましては、寄附者をはじめ、町民の皆さまへ広く周知してまいります。

そして寄附者の皆さまとのご縁を継続していけるよう、関東や関西をはじめとした島外へのPR活動を積極的に行ってまいります。

(2) 世界自然遺産登録地として

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。

世界自然遺産登録を、ゴールでなくスタートとして捉え、希少野生動植物の保護や外来種対策などの遺産価値の保全に努めます。

特にアマミノクロウサギをはじめとする希少野生動物のロードキル対策の強化として看板設置やキャンペーンを実施してまいります。また、エコツアーガイドの育成、林道の利用ルールなどの設定をし、適切な観光管理で、その遺産価値を保ってまいります。

環境省と連携して整備しました天城岳松原登山道につきましては、来る3月12日に「開通式&登山道ウォーク」が開催されます。観光客のみならず広く地域の方々にも利用していただき、世界自然遺産の魅力をアピールしていただきたいと思います。

引き続き奄美群島振興開発事業を活用した「徳之島希少野生動植物保護事業」や「徳之島三町ネコ対策事業」を展開してまいります。

現在、国をあげて2050年までに温室効果ガスゼロを目指しているところであり、本町においても、世界自然遺産登録地としての環境保全に努めていくほか、地球温暖化対策、気候変動等に対応するための脱炭素化社会（カーボンニュートラル）の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

③ 健康・妊娠・子育て・教育の希望をかなえる

(1) 子どもから高齢者までみんなが健康の町

保健予防事業につきましては、引き続き乳幼児健診、特定健診、長寿健診、がん検診などの各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症3回目のワクチン接種につきましては、65歳以上の高齢者の皆さんの前倒し接種を1月下旬より各医療機関で実施しております。集団接種につきましても3月7日から順次進めております。11歳以下の若年層のワクチン接種につきましては、希望する皆さんに迅速に接種できるよう、医療機関との協議を進めているところでございます。

新型コロナウイルス感染症対策基金を活用した、島外療養者の帰島旅費助成を継続し、本年度新たに、感染した方や濃厚接触者の自宅待機への支援を行います。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、マスク着用や手洗い、密集・密接・密閉の三密を避けるなどの新しい生活様式を徹底していただくよう改めてお願い申し上げます。

子育て支援につきましては、保健センターに新設した「子育て世代包括支援センター（こそだてらす）」を拠点とし、妊婦等保健指導・妊婦乳幼児健診・産後ケア事業・親子教室等を実施しています。本年度新たに、こそだてらす研修会・相談会、発育発達促進事業を実施し、出産前から育児まで、切れ目のない子育て支援を展開してまいります。

国民健康保険事業につきましては、誰もが安心して医療が受けられるよう、その安定的な運営を進めてまいります。また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るため、個々に応じた運動の提案を実施すると共にレセプト点検等の医療費適正化対策を推進してまいります。

介護保険事業につきましては、自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むと共に、介護サービスを真に必要とする方へ、過不足ないサービスを適正に提供し、介護保険制度の安定と持続可能な運営を推進してまいります。

地域支援事業につきましては、高齢者が安心して自分の家で暮らし続けることの出来る社会の構築を目指してまいります。そのために、高齢者の状況を把握し、医療・介護・予防・住まい・地域の見守りや生活支援等の充実を図り、高齢者一人ひとりの生活を支える仕組みづくり、地域包括ケアシステムの構築と充実を図ってまいります。

児童福祉につきましては、少子化対策並びに子育て支援の取り組みといたしまして「児童養育助成事業」による保育料の無償化や「児童医療費助成事業」による高校生までの医療費助成を継続すると共に、昨年度から実施しております小学校入学生の保護者への「新入学生未来づくり応援金」や在宅で子育てを行う世帯への「在宅育児支援事業」など引き続き取り組んでまいります。

また、「出産祝金」につきましては、本年度からは第1子5万円を10万円に増額し、第2子以降については、1子ごとに10万円の加算とする拡充を行い、少子化対策及び子育て世帯への経済的支援や負担軽減に努めてまいります。

保育所につきましては、先ほども申し上げましたが、ふるさと納税を活用した設備や遊具等の整備を進めると共に、築40年以上が経過している保育施設の建て替えに関する保護者等の意識調査を実施し、今後の建設に向けての準備を進めてまいります。

障がい者福祉につきましては、昨年度から実施しています海岸清掃など就労機会の提供を継続して行うと共に、先程も申し上げました農業センターなどを活用した農福連携に取り組み、障がいのある人が社会活動に参加するための支援に努めてまいります。

また、「障害者医療費助成」や「障害福祉サービス事業」による介護給付や相談支援給付等を引き続き実施し、障がいを抱えた方やその家族が安心して暮らせるように支援してまいります。

高齢者福祉につきましては、「敬老祝金支給」や「敬老バス無料乗車証交付」の実施、ひとり暮らしの高齢者等が安心して暮らせる環境づくりのための「緊急通報装置」の設置・推進に取り組んでまいります。

また、本年度からは老人クラブ等の自主的な活動を更に支援するため助成金の拡充や、新たに高齢者ハンドル形電動車いす（シニアカー）購入費の一部助成を行い、高齢者の外出時の移動支援に取り組んでまいります。

（2）将来の天城町を託せる人材の教育

教育文化の町づくりにつきましては、「ユイの心をもち、世界雄飛と島担う人づくり」を基本目標として、将来の天城町を託せる人材育成を推進してまいります。

学校教育につきましては、人権尊重並びにSDGsの理念を念頭に置いた教育活動を展開してまいります。また、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～を基に対策を講じながら教育活動を実施してまいります。

個々に適した学習環境の整備・情報活用の習得を目指したGIGAスクール構想実現に向けて、これまでに整備したタブレットを家庭学習でも活用できるよう環境づくりを推進してまいります。

教職員の働き方改革の推進につきましては、学習評価に校務支援システムを活用するなど事務作業の負担軽減を図ってまいります。

学力向上に向けた教員の資質向上、充実した教育活動の推進につきましては、「天城町教育推進プラン」に基づきながら、教員も子どもも共に成長できるように努めてまいります。

特別支援教育につきましては、相談体制の更なる充実に努めると共に、引き続き学校間の交流を深めてまいります。生徒指導につきましては、心の教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置を継続すると共に、引き続き臨床心理士によるスクールカウンセリングを定期的に行い、個々に寄り添った支援を継続してまいります。

「われんきゃグローバルプロジェクト事業」につきましては、児童・

生徒の基礎学力の定着及び学習意欲の向上に資するため、各種検定を実施し、保護者の経済負担の軽減を図るためこれに要する経費について学力向上検定補助事業を継続して実施いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止していた中学生を対象とした海外派遣事業については、本年度に限りオンラインによる交流活動を中心とした内容にいたしますが、その事業は進めてまいります。

英語教育につきましては、令和4年度～令和6年度を英語教育強化期間として「天城町英語教育推進プラン」に基づいた英語教育を展開してまいります。小・中学校においては、今まで以上に生の英語に触れる機会を設けるため、ALTが2名体制となりました。更には、幼稚園・保育所へ派遣しグローバルな触れ合いの中で幼少期から英語に慣れ親しめる環境を作ります。

郷土教育につきましては、ふるさと天城に誇りをもつ児童生徒を育てると共に、次世代を担う人材を育成するため、シマグチや島唄など伝統文化に関心を持ち、自然環境等の世界的な〝価値〟について学ぶ「あまぎ学」を引き続き実施いたします。

本年度は、新たにクラウドファンディングを活用したテキスト「徳之島・天城町が世界に誇る自然と文化（仮）」を製作してまいります。

学校給食につきましては、地場産品を積極的に活用し、子どもの地域に息づく自然や文化、農業に関する理解を深めると共に、生産者の努力や食に関する感謝の気持ちを育んでまいります。そのため昨年度に引き続き地場産品や地元生産牛などを食材として使い、地域農業・畜産業についての食育学習を推進してまいります。

また、保護者の教育費負担を軽減し、家庭生活環境の向上と、安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを支援することを目的として、本年度から学校給食費の完全無償化を実施いたします。

健康で心豊かな子どもの育成につきましては、体験活動や芸術とのふれあい教室を実施すると共に、山海留学制度や特認校制度を活かした学校及び校区の活性化地域支援活動を推進してまいります。

高等学校、短期大学、専門学校、大学等への進学希望者を対象に、天城町育英奨学資金を継続して貸与してまいります。夢と希望の上原勇一郎奨学資金につきましては上原氏ご本人に直接ご相談するなど、継続して貸与できるよう努力してまいります。

また、コロナ禍の中、島外で不安な学生生活を送っている町内出身のすべての学生に対し、継続した学びを応援するために臨時支援金の給付を引き続き実施してまいります。

学校施設につきましては、第6次天城町総合振興計画（AMAGI-VISION）及び天城町学校施設長寿命化計画に基づき校舎・体育館・教員住宅の計画的な補修・建て替えを進めてまいります。そのため、新たに「天城町学校施設整備基金」を設け、その財源を確保してまいります。

本年度は、西阿木名校区に1棟4戸の教員住宅を建設いたします。

併せて、給食センターの建設につきましても、用地の取得や基本設計など準備を進めてまいります。

社会教育につきましては、令和5年1月に「家庭・学校・地域と共に学び、育ち、楽しむPTA活動」をテーマに鹿児島県PTA研究委嘱公開が本町で開催されます。PTA会員相互の資質向上と活動の充実・発展が図られる大会になることを願っています。

また、文化芸術の取り組みとして、子どもを対象とした「心の教育芸術鑑賞」や一般を対象とした「みやまふれあいコンサート」を実施する等、芸術を愛する心や豊かな情操を育てていきます。

生涯学習につきましては、町民の価値観や学習ニーズに的確に対応し、各講座の内容の充実を図ってまいります。

また、放送大学授業単位取得助成事業につきましては、生涯学習の観点から受講者の学習意欲の向上及び経済的負担軽減を図ります。各種資格取得、キャリアアップなどたいへん有意義な学習機会を提供できる事業だと考えています。今後、多くの皆さまにご利用して頂ければと思います。

教科セミナーにつきましては、授業内容の充実や夏季・冬季セミナーの集中講義や模擬テストに力を入れ、個々の様々な能力開発・学力向上を支援し次代を担う青少年の健全育成を図ってまいります。

また、自主的学び応援事業につきましては、平成30年度から今まで13名の生徒を島外の学習塾夏季スクーリングに派遣することができました。更に参加枠を増やし、自ら何事にもチャレンジする生徒

の育成に努めてまいります。

図書館につきましては、昨年度導入した読書通帳を有効活用しながら読書活動の充実を図ると共に、本年度、新たに導入致しますプロジェクターを活用した映画観賞会等を実施するなど、今後も町民が気軽に利用できる図書館を目指してまいります。

読み聞かせは、教育格差関係なくできる最初の教育と言われております。子どもと過ごす時間を大切にし、就学前に学業の基礎を作ることができることから、それを共有し、習慣化されるよう努めます。

ユイの里天城花いっぱいフラワーロード運動につきましては、開始以来多くの町民の皆さまにご参加・ご協力をいただいております。

事業をとおしてOSOS運動の推進と地域コミュニティーの育成並びに地域活性化を図りながら、自立・共生・協働の町づくりを更に推進してまいります。

社会体育につきましては、第75回県民体育大会第63回大島地区大会及び第49回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会の「全空連空手道競技」がどちらも本町で開催されます。

また、令和3年度に新型コロナウイルス感染症により中止となった「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」でございますが、再申請し、本年、8月12日に本町で開催される事が決定いたしました。町民の皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。

B&G海洋センターにつきましては、総合体育館及びプールの利用促進に努めます。また、多目的艇庫を活用した学習体験プログラムの充実や、水上アクティビティを通した青少年の健全育成、並びに交流の場としての利用の推進に努めてまいります。

ユイの館につきましては、世界自然遺産登録により島外の来館者が増えてくることが予想され、郷土文化資料の収集・保存・展示などの充実を図ります。

また、夜光貝を利用した工芸教室等の各種講座、島の自然を題材とした講演会などを開催して町民の学習環境の充実に努めてまいります。

文化財事業につきましては、国宝重要文化財等保存整備事業を活用して、下原洞穴遺跡の緻密な調査を行い、国史跡への指定を目指します。そのためにキックオフイベントとして、専門家を交え、下原洞穴遺跡に関するシンポジウムを開催し、これまでの調査によって得られた成果を地域の方々と共有すると共に、文化財保護思想の醸成に努めてまいります。

4 時代に合った地域をつくり、安心したくらしを守る

(1) 町民が安心して暮らせる環境の確保

生活環境の整備につきましては、国庫補助事業の前野岡前横断線及び平和東線の道路改良を継続して推進してまいります。また、各集落の要望箇所につきましては、バランスよく対応してまいります。

地方改善施設整備事業につきましては、寺原線、兼久千間線が完了しました。本年度は仲間5号線ほか、集落内排水路の整備を進めてまいります。

舗装修繕事業につきましては、瀬滝三京線・松原天城線・浅間中央線・奥川線を中心に進めます。また、町単独事業として、町道米配田線の舗装を行います。

県道につきましては、維持補修事業及び路傍樹育成保全事業を継続して実施してまいります。

町営住宅整備につきましては、その住宅不足解消に努めてまいります。公営住宅建設事業として前野団地に1棟6戸を建設します。また、大和川団地の用地取得も進めてまいります。更に、町単独事業で三京集落に木造住宅2棟2戸の建設を進めてまいります。

公園整備事業につきましては、総合運動公園・岡前西郷公園の遊具施設等の更新に区切りがつきました。遊具等公園内施設につきましては老朽化を見越した安全確保のため、定期的な更新が必要でございますので、また新たな計画を立ててまいります。本年度は高千穂公園の遊具等の設置を行ってまいります。

防災につきましては、新たな情報配信手段として「天城町防災アプリ」の運用を開始いたします。

各自のスマートフォンに「天城町防災アプリ」をインストールすることで、いつでも、どこにいても、情報の確認が可能となります。併せて、平常時の行政放送等の告知にも活用してまいります。

いつ、発生するかわからない大規模自然災害に備え、町土の強靱化対策は喫緊の課題であります。

去る1月16日に発表された津波警報は、新型コロナウイルス感染が収束しない中、深夜という時間

帯で避難体制の課題も洗い出されました。町民の生命を守るため、日頃からの備えを訓練等でシュミレーションすると共に自主防災組織の強化と防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進いたします。

昨年3月に策定した「天城町国土強靱化地域計画」に基づき、年次的に指定避難所の暴風対策等の避難所機能強化を実施してまいります。本年度は、「前野福祉館」、「西阿木名地区振興センター」の2箇所について実施いたします。

また、B&G財団からの「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」を活用して、重機や水上バイク、災害用ドローンの講習・研修を行い、災害時に運用できる体制構築を図ります。

地域防災の要である消防団員の確保と養成が課題であり、引き続きAYTや町ホームページを活用し人材確保に努めてまいります。

また、徳之島地区消防組合天城分遣所の高規格救急車について、町民の生命及び救急隊員の心的負担軽減のため、車両更新を行います。

交通安全・防犯対策等につきましては、徳之島警察署及び徳之島地区防犯連絡協議会や集落区長との連携により、危険箇所等を把握すると共に、その情報を共有し早期対応に心がけ安心安全なまちづくりを目指します。そのために防犯カメラの設置を年次的に実施してまいります。

また、集落からの要望が多い防犯灯につきましては、引き続き防犯灯設置LED化補助金交付事業を拡大し、必要箇所への設置及びLED化を促進いたします。

その他、町内交通支部及び交通安全母の会と共に交通ルールや交通マナーの意識向上、並びに飲酒運転根絶運動を積極的に実施してまいります。

長引くコロナ禍で集落行事の中止による寄附金の減少など、集落運営が逼迫している状況に鑑み、臨時交付金を活用して令和3年度に引き続き、「集落支援事業」を実施いたします。

水道事業につきましては、町民が安心できる水の安定供給を目指し水道施設の適正な維持管理を行ってまいります。

また、集中豪雨、台風、地震などの大規模自然災害に耐える強靭かつたくましい水道施設を目指し導水管、配水管の強化、上水道施設の更新に努めてまいります。

本年度は、松原地区の「生活基盤近代化事業」採択のため、天城町上水道事業変更認可申請を行い、令和5年度事業開始に向けて進めてまいります。

生活環境・公衆衛生につきましては、生活排水対策として合併処理浄化槽設置整備事業を推進しております。本町においては、合併処理浄化槽設置率が51％と県内においては下位にあることから、より一層の設置に努めてまいります。

廃棄物対策としましては、ごみの分別を徹底して行うと共に、生ごみ処理機購入費助成事業を行い、ごみの減量化・資源化を推進してまいります。

徳之島愛ランドクリーンセンター新設につきましては、天城町での新設が決定しております。新設準備のため、建設地の確保等を目的とした基本構想の策定を行ってまいります。

また、不法投棄防止パトロールや海岸漂着物の回収を行い、景観及び自然環境の保全に努めてまいります。

（2）行財政改革の推進

第3次天城町行政改革大綱及び天城町人材育成基本方針に基づき、複雑多様化する行政課題や町民ニーズに的確に対応できるよう、新たにデジタル推進係及びカーボンニュートラル係、世界自然遺産保全係を新設いたします。

また、職員の意識改革やコンプライアンスの徹底はもとより、職員の資質向上や組織力の強化、町民との協働意識の醸成を図ってまいります。

税務行政につきましては、多くの町民の皆さまには納税に対するご理解・ご協力をいただいております。納税者の利便性確保の方策としては、口座振替の推進と共に、毎月1回休日納付窓口の開設のほか、24時間対応のコンビニ収納やスマホ決済システムPayB（ペイビー）やPayPay（ペイペイ）等を実施しております。

また、納税意識の向上を図るため、小中学生を対象とした税に関する作品募集や町税に関する広報等に積極的に取り組んでまいります。

一方、納税に対する理解が得られない一部の滞納者に対しては、法に基づき預貯金や生命保険等の財産調査及び勤務先への給与調査等を行います。更に財産差押えなどの滞納処分を強力に実施し、併せて差押物品の公売会を開催してまいります。

以上、町政運営の基本方針と施策の概要を申し上げました。

今後も町民と共に働き、健全な町政運営に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

3次天城町農業ビジョン
（計画期間：令和3年度～令和7年度）
を作成しました

「ユイ」の精神を引き継ぎ、「観光」「環境」「暮らし」と密接に関わり合いながら、本町の農業が持続可能な産業として次世代へ引きついでいけるよう、 3次天城町農業ビジョンを作成しました。

◆3次天城町農業ビジョンの取組

○目標年度　令和7年度
○農業生産額の増加（目標生産額45億円）
・作業時期、労働力、機械等の分散化と異業種間の相互連携
・計画的な水利用による生産性の向上
・土づくり
・高収益作物新・新規作物の導入
・スマート農業の活用
○担い手対策
・新規就農者、中心経営体の育成
・天城町農業センターの活用
・高齢者・女性・障がい者の農業参入
○地産地消の取組
・直売所の整備
・学校給食における地元産物の充実
・有人・無人市場の活性化
○環境との共生

農業を取り巻く全ての町民が、
それぞれの規模やライフステージに合わせ

たのしいの～　らくのう
楽しい農で目指せ楽農!!
目指せ45億!!

問合せ先：天城町役場農政課　85-5257
※詳しくは、天城町ホームページをご覧下さい。

祝 卒業式

～樟南二高～

春になり天城町にも卒業の季節がやってきました。3月1日(火)、樟南第二高等学校で第54回卒業式が行われ、73名の卒業生がそれぞれの思い出を振り返りながら級友との別れを惜しみました。高校生活の2年あまりをコロナ禍の中で過ごした卒業生たちは、コロナに負けずに重ねた努力を胸に新しい道に進んでいきます。牧園弘光校長は「みんなそれぞれ個性があり長所がある。今後、まだ秘めている長所を発見し伸ばしてほしい」と激励しました。

普通科

商業科1組

商業科2組

工業科

北中学校

～北中、天城中、西阿木名小・中～

3月15日には北中学校28名、天城中学校27名、西阿木名小学校4名、西阿木名中学校4名の卒業生が感謝と思い出を胸に学び舎を旅立ちました。天城中学校卒業生代表の今田将太郎さんは、「仲間という最大の味方を支えに、夢と希望を絶やすことなく『思うは招く』で素晴らしい人生を歩んでいきましょう。本当に充実した3年間でした」と決意を力強く話しました。

西阿木名小・中学校

天城中学校

春から新しい生活が始まる卒業生の皆さん、それぞれの進路でのご活躍を願っています。
ご卒業おめでとうございます！

天城まるごとマルシェ開催

2月26日（土）・27日（日）に、天城まるごとマルシェが開催されました。

コロナ禍中でもできるイベントを！停滞する地域経済に活気を取り戻そう！ということで、町内の7店舗が軽トラなどで天城町全集落を巡って、密を避けた形で、たくさんの町民が買い物を楽しみました。マスク・検温・消毒と対策をしっかりしながら、マスクの下はみんな笑顔いっぱいでした。

♪あま くま あまくま走る 軽トラマルシェ　天城町 まるごとマルシェ♪

天城保育所

北部保育所

天城カトリック幼稚園

与名間保育所

南部保育所

西阿木名幼稚園

コロナに負けるな!!

天城まるごとマルシェと農業センターから、各保育所・幼稚園へ花苗とトマトの苗をプレゼント。みんなが元気で、笑顔の花をさかせますように(^^)/

ー　当部住宅 地鎮祭　ー

3月12日(土)、当部集落に建設予定の町営住宅「アトリエ・ハウスinTOVU」の地鎮祭が行われ、関係者や地域住民が出席し、建設工事が無事に終わるよう安全祈願をしました。関係者挨拶の中で奄美設計集団 山下保博代表は、「今までの町営住宅とは違ったデザインとなっており、徳之島の文化を外観で表現。ワンルームですが、必要に応じて部屋を分けられる設計」と解説。山下代表の思惑通り、創作活動の場所として活用されることが期待されます。

ー　松原登山道が完成！　ー

テープカット

環境省と天城町が連携整備を行なった天城岳松原登山道の開通式＆登山道ウォークが3月12日(土)に開催され、関係者約50名が参加しました。環境省が登山道の整備や看板の設置を、天城町が登山口の駐車場やトイレなどの整備を行い、気軽に世界自然遺産を感じることができる新名所が誕生しました。式典では、環境省奄美群島国立公園管理事務所阿部慎太郎所長、森田町長から挨拶が述べられた後、代表者によるテープカットが行われました。

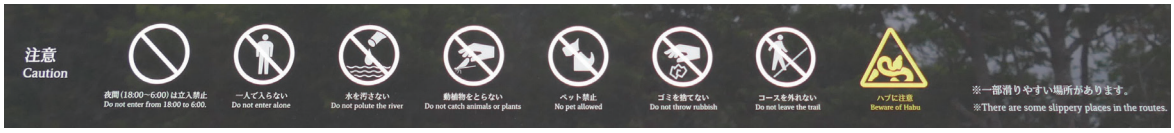
集合写真

式典終了後、エコツアーガイド案内の元、登山道ウォークが行われました。天城岳松原登山道は、世界自然遺産の価値の象徴である亜熱帯の森の魅力を体験できる歩道です。全長730mの登山道にはカームィの滝、マチャラの滝、マムイの滝の3種類の滝が存在します。また、コースの終点にはオキナワウラジロガシ林が360°の空間で広がっており、亜熱帯の森の魅力を全身で感じることができます。目を閉じれば様々な鳥の鳴き声が聞こえ、運が良ければコース途中で希少な生き物を見ることができます。

マチャラの滝

木製階段（217段）

登山道終点
オキナワウラジロガシ林



ー　徳之島経済同志会から３町へ看板寄贈　ー

世界自然遺産登録を記念し、徳之島経済同志会から徳之島3町へ自然保護を目的とした看板が贈られ、ヨナマビーチ駐車場の一角に設置されました。12月1日(水)、鹿児島銀行徳之島支店で目録贈呈式が行われ、吉川清吾会長から3町長へ目録が手渡されました。寄贈いただいた看板は横3m64cm・縦1m82cmで、オキナワウラジロガシを背景に、トクノシマトゲネズミ・アマミノクロウサギなどの希少生物の写真が掲載されており、目を引くデザインとなっています。

ー　渕上グループより１千万円の寄贈　ー

建設業やホテル業など9法人を展開する渕上グループより1千万円の寄附金が贈呈されました。2月14日(月)、役場4階ユイの里ホールにて「天城町発展のために、徳之島発展のために役立ててほしい」と渕上平八郎会長から森田町長へ目録が手渡されました。森田町長は「渕上グループ様には40年以上天城町発展のために貢献していただいている。今回のご寄附も天城町発展のために活用していきたい」と感謝の意を述べました。

ー　手洗いBOX寄贈　ー

ケーテック(株)、内田工業(株)より天城町へセンサー式の非接触型手洗いBOXが寄贈されB&G公園の一角に設置されました。この手洗いBOXは蛇口を触らなくても手を入れるだけで水が出るので衛生的に手を洗うことができます。また、食品洗浄などに利用されるエコノズルが使われているため水量を通常の10%程度に絞りつつ効果的に洗浄することができます。

ー　～町の卒業生が自衛隊へ～ 壮行激励会　ー

2月26日(土)、天城町自衛隊入隊者 壮行激励会が実施され、入隊が決まった高校卒業生4名とご家族、関係者が出席。来賓より激励の言葉が贈られる中、鹿児島県出身で自衛隊の金メダリスト 浜田尚里選手からもビデオメッセージがありました。入隊者を代表し、藤山千聖さんが挨拶。「立派な自衛官になり、お世話になった両親に親孝行したい」と決意を示しました。

ー　指導農業士・女性農業経営士へ認定証　ー

3月3日(木)、県の指導農業士・女性農業経営士が天城町より3名認定され、認定証の授与式が行なわれました。指導農業士として(写真右より)林栄作さん・中山浩樹さん、女性農業経営士として豊村美加代さんへ認定証が授与されました。3人の認定者は、「若手農家を育成したい」「みんなの模範になりたい」「地域のために頑張りたい」と意気込みを示しました。

ー　与名間分校建設について　ー

2月22日(火)、役場4階ユイの里ホールにて天城町立岡前小学校与名間分校新校舎建設推進委員会から森田町長、院田教育長、柏井議長へそれぞれ与名間分校新校舎建設についての陳情書が提出されました。与名間分校は校舎建設から65年が経過しており、雨漏りやカビの発生、鉄骨の腐食など老朽化が進んでいます。同委員会は分校児童や教職員の安心・安全のため、また、集落維持・活性化のために新校舎建設を強く要望しました。

ー　民生委員表彰　ー

永年にわたり、民生委員・児童委員として地域住民の福祉向上と発展に貢献された院田吉雄さんへ、奄美群島社会福祉団体連絡協議会会長から表彰状が贈られました。2月10日(木)、役場3階会議室で天城町社会福祉協議会川村善良会長から表彰伝達されました。

天城遺産

Histrical / Natural heritage in Amagi town

シリーズ天城遺産　その２２

奄美初のストライキが起きた？

松原銅山の盛衰

今から**118年前**、明治37年（1904年）に、亀津出身の**徳三和豊（とく・みわとよ）**が大阪の高橋安兵衛なる人物を招いて**松原鉱業所**、下久志鉱業所の経営、採掘を始めました。徳三和豊は、講道館柔道で名を馳せた、**徳三宝（とく・みたか／とく・さんぽう）の父**であり、陸軍にいたころ山師の息子から鉱山を掘り当てて大もうけした話を耳にし、退役後に島の山を巡って2ヶ所の鉱床を発見したのです。鉱夫は当初150人ほどで、3分の1は内地からの渡り鉱夫を呼びよせました。明治37年は折しも、日露戦争が始まる年のこと。もともと品質が低い鉱石だったことや、離島のため輸送の不便などもあり経営は難航したようです。また、当時の島には、内地の物品はあまり流通しておらず、渡り鉱夫らの不便を解消するのに売店を作ったことも、経営を圧迫していました。それでも三和豊は熱心に鉱山へ通っていたようで、その帰りに兼久でマツ（二番目の妻で三宝の母）の法事に参席した際、脳溢血（のういっけつ）で倒れ、その夜のうちに亡くなりました。明治41年（1908年）9月21日でした。実業家の田中省三（たなか・せいぞう）に売却した時期は不明ですが、三和豊の死後だったのでしょう。鉱山周辺は、鉱石を溶かすために樹木の伐採が進んだことや、採鉱所から出る亜硫酸ガスや鉱毒により、草木は枯れ、川のエビ、カニどころか鳥やハブまで死滅したと言われるほど、荒れた山だったようです。鉱山関係者が行き交うようになった宝土は飲食店が立ち並ぶ賑わいを見せ、精鉱の運搬のために区画整理も進みました。最盛期の大正10年（1921年）ごろには、鉱夫は300人ほどが働いていたそうです。戦時の好景気、終戦後の不景気や恐慌のあおりを受けるなど、激動の時代に創業、そして廃業を迎えました。ところで、**松原銅山**という名が初めて登場するのは、昭和53年（1978年）発行の天城町誌ですが、その名がどこから来たのか・・・不明なのです。徳三宝の甥、指宿英造の著書「柔道一代 徳三宝」には、松原鉱山とつづられています。さらに、町誌には閉山から36年と記されており、昭和16年ごろまで、続けられていたのでしょうか？

主な出来事と時代背景

明治37年 ／ 明治41年 ／ 大正元年 ／ 大正3年 ／ 大正7年 ／ 昭和元年 ／ 昭和3年 ／ 昭和16年

- **松原鉱業所**（徳三和豊・高橋安兵衛）
- **田中鉱山**（田中省三）
- **天城鉱山**（小林鉱業）
- **松原鉱山**（古河鉱業）
- **松原銅山？**（誰かが引き継いで操業？）

●徳三和豊、死去

●合名会社古河鉱業会社から鉱業部門などを分離、古河鉱業株式会社を設立

奄美初のストライキ!?

★**1回目・ストライキ**（大正2年6月、参加者150人、支払い遅れとなっていた賃金要求）

★**2回目・ストライキ**（大正5年6月、参加者112人、賃上げ要求）

★**3回目・ストライキ**（大正5年11月、参加者30人、監督者の排斥要求）

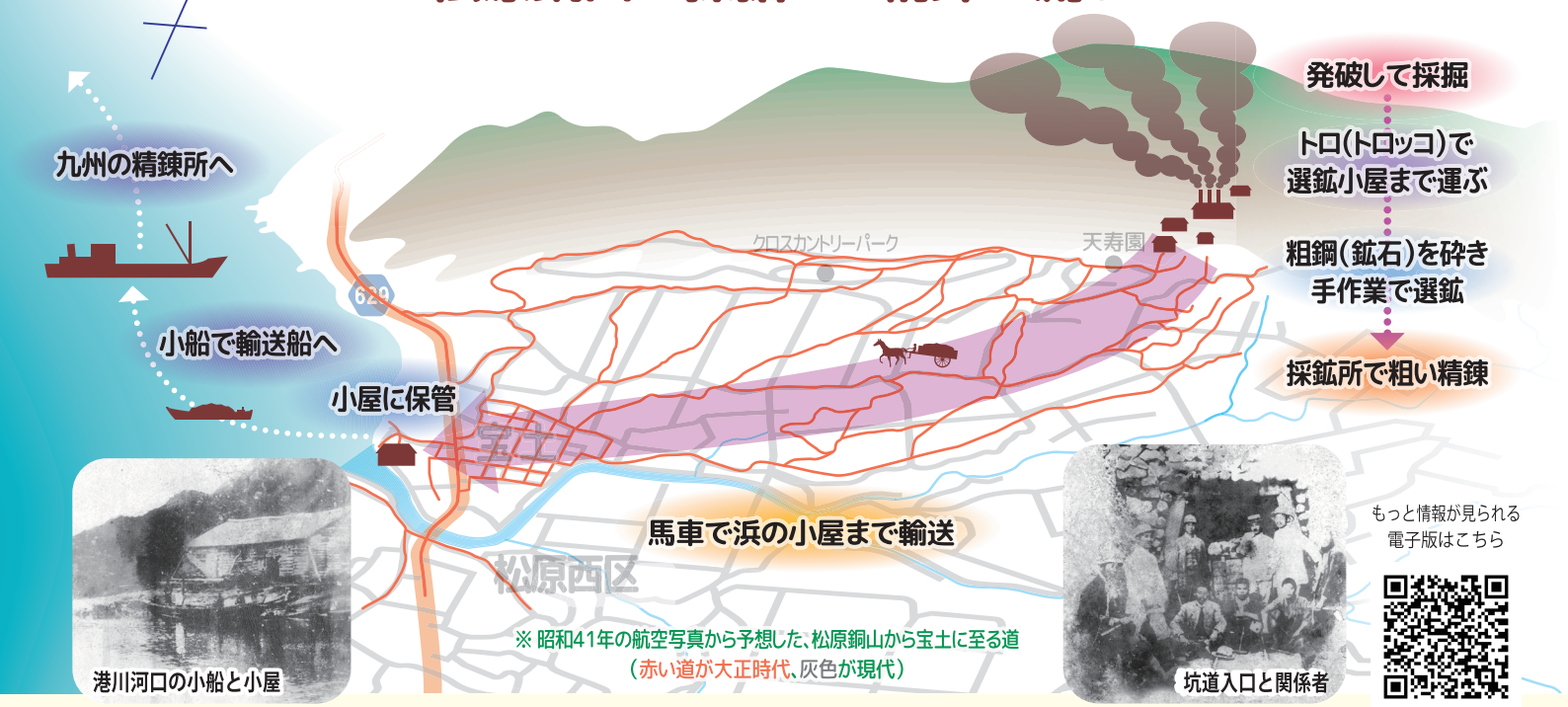
★**4回目・ストライキ**（大正6年12月、参加者30人、賃上げ要求）

★**5回目・ストライキ**（大正9年4月、参加者46人参加、賃上げ要求）

●日露戦争、勃発（ぼっぱつ）
●日露戦争、終結
●第一次世界大戦、勃発（ぼっぱつ）
●第一次世界大戦、終結
●関東大震災
●昭和金融恐慌
●世界恐慌
太平洋戦争、始まる●
第二次世界大戦、勃発●

※本来のストライキは雇用主に対し、労働しないことで抗議し、労働条件などの改善を求める争議ですが、松原鉱山では暴力や施設の破壊が伴い、逮捕者も出ました。

松原銅山の採掘から精錬の流れ



※ 昭和41年の航空写真から予想した、松原銅山から宝土に至る道（赤い道が大正時代、灰色が現代）

もっと情報が見られる電子版はこちら

※ 松原銅山で働いていた渡り鉱夫によって、九州の棒踊りが岡前や西阿木名へ伝えられたのだそうです。

編集：天城町教育委員会 具志堅亮、山田文彦

天城町防災のキャラクター、防災あまぎくん

天城町防災アプリ

令和4年4月1日より 無料で

配信開始しました！

防災情報を網羅したマップ！

避難所、一時避難場所、津波・土砂災害警戒区域、ARなど

災害が迫ってからあわてないよう、日ごろからアプリを活用して、避難するルートに危険が無いかなど、事前に確認しましょう。災害時には、どのように避難するのか、家族で話し合って決めておきましょう！

その場所の津波の高さがわかる！

最大津波15mが来ると、その場所では何メートルになる!?

SOS! メッセージ+GPS情報を発信！

いつものメール、LINEなど通信アプリから、すぐ発信

役場からの情報をすぐに受信

行政や防災の耳より情報を、文字や音声でリアルタイムに！

※表示内容はイメージです

※ 地図や情報を取得する際には、通信料金が発生します。

ご家庭のほか、避難所、防災センター周辺でWi-Fiを活用しましょう。

ダウンロードはこちらから

App Store からダウンロード

iOS
およそ49MB

Android
およそ25MB

Google Play で手に入れよう

ご意見、ご質問等は

天城町役場 総務課 防災対策係 0997−85−5144

宝くじの助成金で自治会の備品整備
（三京集落会）

宝くじは、広く社会に役立てられています。

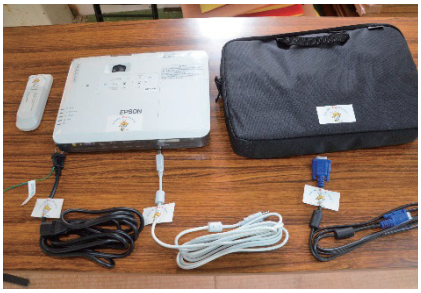
財団法人 自治総合センターは，宝くじの社会貢献広報事業として，コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備，安全な地域づくりと共生のまちづくり，地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い，地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより，地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っております。

令和３年度一般コミュニティ助成事業として，三京集落会にプロジェクターやエアコンを設置しました。

今後も各自治体の要望をお聞きし地域の活性化に役立てていく予定です。

※各自治会の整備した備品につきましては天城町ＨＰにてご覧になれます。

□ 三京集落会



ありがとうの手紙「徳之島のハブさんへ」

岡前小学校3年生 宇都 佑星（うと ゆうせい）さん

ぼくは、きみがきらいでした。もうどくを持ったきみが木の上や草むらにいるせいで、ぼくの大すきな虫とりがせいげんされるからです。でも、「徳之島が世界しぜんいさんになった。」と聞いたとき、きみのおかげという話を聞きました。徳之島には、たくさんのきちょうな生き物がたくさんいることには、さまざまな理由があるらしいけど、「きみをこわがって人間が山おくやふかい森の中に入っていけなかったから、しぜんはまもられた。」という話にぼくはきょうみを持ちました。つまり、きみが徳之島の大切な生き物たちの命を守ってきたんだね。本当にありがとう。そして、ごめんね。ぼくも、これからきみの守っている生き物たちの命を大切にします。

（ありがとうの手紙コンテスト2021 九州・沖縄ブロック中学年の部 最優秀作品賞受賞）

★8020達成★おめでとうございます♪

8020運動とは、平成元年より厚生省(当時)と日本歯科医師会が提唱して開始された、満80歳で20本以上の歯を残そうという運動で、何でも美味しく食べるために必要な本数です★

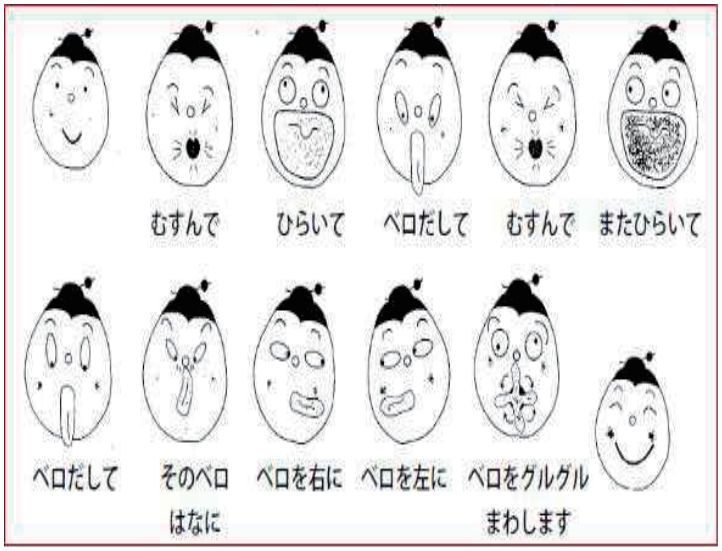
令和3年度は3名の方が受賞され、歯の健康のコツを伺いました(^^)/

北郷　チヅエ さん(80)
残存歯　29本
夜の歯磨きを大事にし、鏡を見ながら歯磨きをしたり、舌も磨いている☆食事がとってもおいしい♪

福　清一　さん(80)
残存歯　22本
何でも良く噛み、1日3回の歯磨きは毎日しています☆

福田　利光　さん(80)
残存歯　28本
半年に1回は歯のお掃除に行き、歯間ブラシも使用している。毎朝ラジオ体操もしています♪

お口を動かしてみよう！



6月・7月に特定健診があります♪無料で歯科健診も行っているので★受診して今のお口の現状を知ってみよう♪

8020

天城町保健センター

小児（5歳～１１歳）新型コロナワクチン予防接種のお知らせ

１．接種対象者

５歳～１１歳の方へ「接種券付き予診票」を対象者全員に送ります。慢性呼吸器疾患・先天性心疾患・重症化リスクの高い基礎疾患を有するお子様には接種が推奨されていますが、新型コロナワクチンの接種を受けることは強制ではありません。

ワクチンの予防効果と副反応のリスクの双方について理解した上で接種するメリットとデメリットを考慮いただき、接種をうけるご本人と保護者の方でよく相談のうえ、接種を受けるかどうか判断下さい。

２．小児ワクチンについて【接種費用は無料】

ワクチン	接種回数	１回目と２回目の接種間隔	接種対象者年齢
ファイザー社の小児ワクチン	２回	通常３週間	５歳～１１歳

◆1回目の接種時に１１歳だったお子様が、２回目の接種時までに１２歳の誕生日を迎えた場合２回目接種にも１回目と同じ小児用ワクチンを使用となります。

３．接種を希望される方は、下記の医療機関へ直接電話予約をして下さい。

医療機関名	電話番号	接種日
あまぎユイの里医療センター	８５－３０８０	3/17から毎週木曜日夕方4時
天城診療所	８５－３３１５	3/22から
徳之島徳州会病院	８３－１１００	3/22から火・水・金
宮上病院	８２－０００２	病院へ問い合わせ下さい
いなだ整形・内科クリニック	８３－３８００	3/22から火・金
徳之島診療所	８３－２１３１	3/12から毎週土・4月は曜日変更
伊仙クリニック	８６－３０３０	3/22から月・火・木・金

４．接種当日の留意点

○「接種券付き予診票」あらかじめ記入して下さい。
○　予診票の署名欄に「保護者氏名」を署名して下さい。
○　保護者同伴が必須です。
○　新型コロナワクチン接種の前後２週間は他の予防接種ができません。
○　母子健康手帳（他の予防接種履歴等確認するのに必要となる場合があります）

（お問合せ　天城町保健センター　８５－４１００）

特別障害者手当・障害児福祉手当のお知らせ

精神又は身体に著しく重度の障害を有するために，日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の福祉を向上させるために支給される手当です。

ただし，福祉施設に入所している方や３ヶ月を超えて入院している方は，支給の対象外となる場合があります。

また，受給資格者，配偶者，扶養義務者の前年の所得額によっては，その年の８月から翌年の７月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。

特別障害者手当（20歳以上の方）：月額27,300円（令和４年４月改定）

障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額14,850円（令和４年４月改定）

■問合せ先　鹿児島県徳之島事務所福祉課　☎ 0997-82-0233

「令和４年全国戦没者追悼式」参列遺族の募集

全国戦没者追悼式への参列を希望される遺族の方を募集します。

○期　　日　令和４年８月15日（月）
　　※　前日からの団体行動になります。
○場　　所　日本武道館（東京都千代田区）
○対　象　者　戦没者の遺族
　　一般戦災死没者（空襲により亡くなった方など）の遺族
　　※鹿児島県内に住民登録をしている遺族に限ります。
　　※過去に参列したことがない方を優先します。
　　※「次世代への継承」という観点から「18歳未満の遺族」についても募集します。
○申込期間　令和４年５月２日（月）～５月31日（火）
○募集人員　鹿児島県内から65人
　　※申込み多数の場合は、選考を行います。
○申　込　先　天城町役場　長寿子育て課　社会福祉係
　　電話　８５－５３１０
○問い合わせ先　県庁社会福祉課　調査援護係
　　電話　０９９－２８６－２８３０
○そ　の　他　新型コロナウイルスの感染状況により，今後変更になる可能性があります。

令和4年度以降の成人式についてのお知らせ

従来通り二十歳で式典を実施します

令和4年4月1日から民法の定める成人年齢が18歳に引き下げとなりました。
天城町として令和4年度以降に実施する成人式つきましては、従来通り当該年度に20歳を迎える方を対象として、名称は「二十歳（はたち）のつどい」に変更し、1月2日に実施を予定しています。

※令和4年度（令和5年1月2日開催予定）の二十歳のつどいの対象者は、平成14年4月2日～平成15年4月1日に生まれた方となります。
対象者には、10月頃に保護者宛に案内状の送付を予定しています。

★問い合わせ先★　天城町教育委員会社会教育課　TEL：85-5237

自動車税種別割は5月31日までに納めましょう！！

自動車税種別割は，４月１日現在で自動車（軽自動車は除く）を所有している方に納めていただく税金（県税）です。今年は「納税通知書発送日」が５月６日，「納付期限」が５月31日（火曜日）となっています。

（県税務課ホームページアドレス）
https://www.pref.kagoshima.jp/ab07/kurashi-kankyo/zei/aramashi/car/car2.html

自動車税種別割は、インターネット、スマホ決済アプリ、クレジットカード（令和4年5月31日まで）、金融機関・郵便局などで納めることができます。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、納付が困難な場合は、大島支庁県税課にご相談ください。

問い合わせ：大島支庁県税課　TEL　0997-57-7225

天城町立図書館だより 4月

読書通帳2冊目第2号さん

吉岡瑛美ちゃん

読書通帳2冊目第3号さん

米澤茉希ちゃん

新着本

※コロナの感染状況により、移動図書が中止になることがあります。ご了承下さい。

移動図書館車 運行日程

4月9日(土)

与名間分校入口
14：30～14：50

松西公民館
15：00～15：20

松原駐在所前
15：30～15：50

松上公民館
16：00～16：20

4月16日(土)

塩満団地
14：00～14：20

B＆G
14：30～14：50

戸の木団地
15：00～15：20

前野公民館
15：30～15：50

岡前小横
16：00～16：20

4月23日(土)

三京ぬくし
13：30～13：50

平井製糖前
14：00～14：20

振興センター前
14：30～14：50

富田商店前
15：00～15：20

あがりまた
15：40～16：00

14歳の世渡り術シリーズ

未来が見えない今だから、「考える力」を鍛えたい。

これから14歳を迎える人、かつて14歳だった人に

ぜひ読んでもらいたい本です。

後期高齢者医療保険加入者へ

まだ、マイナンバーカードをお持ちでない方へ！

鹿児島県後期高齢者医療広域連合より、マイナンバーカードの交付申請書が交付されます。必須事項等記入・写真を添付し、返信用封筒に入れて返送をお願い致します。

後期高齢者医療制度に関するお知らせ

一定以上の所得のある方の医療費の窓口負担割合が変わります

2022年9月30日まで

区分	医療費負担割合
現役並み所得者	３割
一般所得者等※	１割

2022年10月1日から

区分	医療費負担割合
現役並み所得者	３割
一定以上所得のある方	**２割**
一般所得者等※	１割

被保険者全体の約20%

※住民税非課税世帯の方は基本的に１割負担となります。

問い合わせ　けんこう増進課　８５－５３４８

鹿児島県の最低賃金

みんなチェック！ 最低賃金。

地域別最低賃金

	時間額	効力発生日	適用範囲
鹿児島県最低賃金	821円	令和3年10月2日	鹿児島県内のすべての労働者及び使用者に適用されます。 ただし、下表記載の産業に該当する場合は、各産業別最低賃金が適用されます。

特定最低賃金（産業別最低賃金）

産業名	時間額	効力発生日	適用範囲
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 （医療用計測器製造業を除く、ただし心電計製造業は含む）	842円	令和3年12月17日	次に掲げる者を除く（ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます） ① 18歳未満又は65歳以上の者 ② 雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中のもの ③ 次に掲げる業務に主として従事する者 イ 清掃又は片付けの業務 ロ 手作業により又は手工具若しくは小型動力機を用いて行う組線、巻線、かしめ、取付け、バリ取り、かえり取り、錆ばり取り、刻印又は選別の業務（これらの業務のうち流れ作業で行う業務を除く） ハ 手作業による包装、袋詰め、箱詰め、材料の送給又は取りそろえの業務
自動車（新車）小売業	872円	令和3年12月16日	次に掲げる者を除く（ただし、鹿児島県最低賃金は適用されます） ① 18歳未満又は65歳以上の者 ② 雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中のもの ③ 清掃又は片付けの業務に主として従事する者
百貨店，総合スーパー	821円	左記の最低賃金は、令和3年度は改正がありませんでした。 このため、令和3年10月2日から鹿児島県最低賃金821円以上の支払いが必要となります。	

●最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどすべての労働者に適用され、使用者は労働者に対し、最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

●特定最低賃金（産業別最低賃金）は、県内の特定の産業の労働者と使用者に適用されます。
地域別と産業別の両方の最低賃金が同時に適用される場合には、高い方の最低賃金額以上の賃金を支わなければなりません。
なお、「外国人技能実習生」は、「技能習得中のもの」には該当しません。

※最低賃金には、次の賃金は算入されません。

①臨時に支払われる賃金（結婚手当など）
②一月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与など）
③時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金
④精皆勤手当、通勤手当、家族手当

最低賃金に関するお問い合わせ先

鹿児島労働局賃金室 （電話）099-223-8278
鹿児島労働基準監督署 （電話）099-214-9175
鹿屋労働基準監督署 （電話）0994-43-3385
川内労働基準監督署 （電話）0996-22-3225
加治木労働基準監督署 （電話）0995-63-2035
名瀬労働基準監督署 （電話）0997-52-0574

業務改善助成金

中小企業・小規模事業者の皆さんへ 生産性向上に向けた取組を支援します 詳しくはこちら 業務改善助成金 検索

事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）を一定額以上引き上げ、設備投資など（機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練）を行った場合に、支給の要件に応じてその費用の一部を助成します。

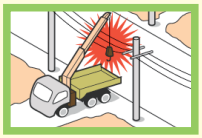
【お問い合わせ先】 業務改善助成金コールセンター（☎０３－６３８８－６１５５）又は
鹿児島労働局雇用環境・均等室（☎０９９－２２３－８２３９）又は
鹿児島働き方改革推進支援センター（鹿児島県社会保険労務士会内☎０１２０－２２１－２５５）

鹿児島労働局・労働基準監督署

https://jsite.mhlw.go.jp/kagoshima-roudoukyoku/

九州電力送配電から感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないようお願いします。なお、万一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、九州電力送配電までご連絡いただきますようお願いします。



九州電力送配電(株) 奄美配電事業所　電話：０８００－７７７－９４５３

岡ちゃんの天城さんぽ
-誌上編-

山野を彩る“春の花”
～徳之島固有変種:トクノシマエビネ～

「エビネ」というランの仲間は、名前を聞いたことのある方が多いかもしれませんね。徳之島にはエビネの仲間は(確実にあるとされるものは)4種類生息しています。この内トクノシマエビネとよばれるものは、徳之島にしかない固有(変)種です。

本土では卒業式や入学式の頃に花が咲くものが多く(サクラなど)華やかですね。徳之島ではそれらが冬の内に咲いてしまうものも多いですが、トクノシマエビネはその頃が開花時期で、いわば「徳之島の山野の春を彩る花の一つ」といえそうです。但し、いろいろと慌しいこの時期に、山野に出かけてこの花を見かけた事のある方は、あまり多くないかもしれませんね。

通常のタイプ

色が濃いめのタイプ

色が薄めのタイプ

参考：アマミエビネ

☆トクノシマエビネの特徴

トクノシマエビネを「徳之島固有『変』種」と書きましたが、これは何を意味するかというと、本土のエビネ(トクノシマエビネの基準種:語句の意味は割愛します)とほとんど変わらないものの、わずかながら一定の差がみられる、という事です。なので本によってはあえてトクノシマエビネとは名乗らずに、単にエビネが徳之島にも生息する、と表現される場合もあります。実際には、ラン愛好家の間ではエビネとトクノシマエビネは確かに違う、と話しているのを聞いた事がありますが、素人が見たら何が違うのかはよく分かりません。

このように、本土のエビネとほとんど同じではあるのですが、隣の奄美大島に生息するアマミエビネは、本土のエビネとは全然似ておらず(キリシマエビネに似ているといわれます)、一方で沖縄島だけに生息するカツウダケエビネは、トクノシマエビネと同じようにエビネの変種です。この事実がトクノシマエビネの興味深い謎ではないでしょうか。

このトクノシマエビネの花の特徴としては、上の花びらが色がついている感じで下の花びらは白っぽい色ですが、この色に関しては多くのバリエーションがあります。　それともう一つ大きな特徴としては、トクノシマエビネは3月中を中心とした時期に花が咲くという事で、その為に「春咲きエビネ」といわれる事があります。徳之島では本土のようには卒業式や入学式の時期に多くの花期が集中しませんが、トクノシマエビネはちょうどその頃に咲く花の一つといえるでしょう。

そもそもエビネとは、ランの仲間の多くは根際に「偽球茎(バルブ)」という部分がありますが、これの形がエビのように曲がっている事からそう呼ばれています。

☆トクノシマエビネの生息環境

トクノシマエビネがどういう場所に生息しているかというと、そのものずばり「徳之島の世界自然遺産地域」が主な場所となっていて、その周辺の緩衝地域(国立公園第2種特別保護地域)や国立公園外に全くない訳ではありませんが、人為的に植栽した場合を除けば、集落付近や集落近くの小規模な林でみる事はまずないでしょう。つまり安定した森林環境の林床に生息していますが、鬱蒼とした環境よりはある程度光が差し込む場所に多いようです。

また、1株単独でというよりは数株まとまって生えている事が多く、規模のある群生地が見られるととても華やかな雰囲気です。このような「お花畑」は相当な山奥に行かないと見られなくなりましたが、今後は主な生息地は世界自然遺産地域として保護されていくようになったので、ずっと安定して維持されていく事が期待されます。

☆トクノシマエビネの現状

トクノシマエビネはかなり以前は、山に入れば「足の踏み場もないほどみられた」そうですが、一時期起こった「エビネブーム」によりこぞって採集されてしまったようで、全体的な個体数はかなり減ってしまいました。前述のように花の色のバリエーションが豊富なのが魅力でしたが、より美しいものや希少な色合いのものは真っ先に採集対象となってしまい、今ではほとんど見られなくなりました(以前は写真に示したよりも多くのバリエーションが見られたそうです)。

現在では徳之島3町の希少動植物の保護に関する条例に指定されて、採集や損傷が規制されています。

町民の動き

わたしたちのまち

（3月1日現在）

世帯数（戸）	3,046
総人口（人）	5,682
男	2,913
女	2,769

（2月届出分）

出生（ 2）	死亡（12）
転入（11）	転出（ 9）

わたしたちのまち

（2月1日現在）

世帯数（戸）	3,051
総人口（人）	5,690
男	2,916
女	2,774

（1月届出分）

出生（ 6）	死亡（15）
転入（16）	転出（10）

おためでとう

氏名	保護者	住所
上岡 碧（あおと）	将瑠奈	平土野
友良 奏翔（かなと）	翔太 衣舞紀	平土野
徳田 陽飛（あさひ）	徳之 真名美	前野
栄 美陽（みや）	俊弥 有美	岡前
松林 莉緒（りお）	将吾 有里菜	西阿木名
亀山 守真（しゅうま）	守太 菜月	平土野

いつまでもおしあわせに

宮田 光一	平土野
東田 三穂	徳之島町
久松 海聖	鹿児島市
新田 晴楓	松原上区
竹山 光宏	大津川
泉 唯	伊仙町

香典返し

故人	寄付者	金額
福 富久	松林 ヒロヨ	2万
浅野 一広	浅野 モチ	3万
東 ヒデ	島 久美子	2万
住 マサ	住 繁昌	3万
芝 澄	芝 博徳	3万
宮 敦子	宮 憲二	2万
森田 ノリ子	三代 さと子	3万
西松 文栄	西松 清仁	5万
浅野 広光	浅野 誠也	2万

令和4年1月1日から令和4年2月28日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

ごめいふくをお祈りします

氏名	年齢	住所
北郷 二三	84	兼久
福 富久	94	浅間
住 マサ	83	松原上区
藤井 伯也	61	浅間
碇 スミ	98	前野
井介 サエ	85	兼久
木村 シゲ	98	平土野
長位 鎌三	86	西阿木名
芝 澄	96	浅間
徳田 日出仁	29	岡前
陽田 正憲	74	天城
柚木 琢也	49	天城
麓 肇	53	松原上区
宮 敦子	76	浅間
森田 ノリ子	81	前野
西松 文栄	93	天城
雪山 キヨ	91	天城
森田 ノリ	95	松原西区
盛田 千枝子	68	前野
山崎 秀樹	55	天城
福山 ミヤ	99	松原上区
田井 静夫	75	平土野
柚木 謙治	82	天城
豊島 芳満	95	浅間
仁 成吉	90	三京
玉江 エイ	93	浅間

1月・2月届出のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

広報あまぎ 3月号
発行 天城町役場総務課
鹿児島県大島郡天城町平土野2691−1

珍大根！？

松原上区の西繁夫さんの畑で珍しい大根が収穫され、情報を提供していただきました。4か所から葉が生えた大根や、頭が2つの大根など奇妙な形をしています。「珍しいかどうかはわからないが、私は今まで見たことがない」と話す西さん。特に変わった育て方はしていないそうで、なぜこのような大根ができたのかは不明だそうです。

大根の豆知識
ビタミンCをはじめとし、カリウムや食物繊維を含んでおり、美肌効果や免疫効果があると言われています。また、消化促進成分のジアスターゼを多く含んでいるため、消化を助けるとともに整腸作用があります。そして大根の葉の部分は栄養の宝庫で、カルシウム、鉄、カリウムなどを含み、骨粗しょう症、貧血、高血圧予防に効果があると言われています。

まちのアイドル

伊藤　健（たける）ちゃん
貴將・あゆみ　前野
令和３年２月17日
元気に大きくなってね♪

福田　海美（きらら）ちゃん
耕作・美代子　松原上区
令和３年３月22日
ニコニコ笑顔が可愛いきららちゃん♪
元気にすくすく育ってね（ˆωˆ）♡

實村　永太（えいた）ちゃん
健太・彩乃　天城
令和３年３月10日
いつも元気な永太くん。これからもたくさん思い出を作ろうね！

ご掲載希望の方は右記までご連絡ください。☎85-4260

町政の動き

令和４年１月

日・曜日・諸会議・行事等報告

1土　令和４年天城町高千穂神社歳旦祭
2日　令和４年天城町成人式
3月　全島一・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会（伊仙町）
　　合同年祝い（前野集落）
4火　職員昇給辞令交付式
　　天城町役場仕事始め式
　　天城町消防団出初式
5水　北海道日本ハムファイターズ近藤健介選手一行徳之島自主トレ歓迎セレモニー（空港）
7金　区長連絡協議会定例会
8土　徳之島中央家畜市場初セリ市
11火　天城町新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第32回）
　　徳之島３町新型コロナウイルス感染症対策会議（ＷＥＢ会議）
12水　令和４年天城町議会第１回臨時会
　　Ｂ＆Ｇ財団常務理事来庁
　　徳之島地区消防組合臨時議会
16日　津波警報発令に伴う天城町災害対策本部設置（警戒及び応急対応）
　　対策本部廃止（14：00）
20木　徳之島警察署長来庁
21金　保岡宏武衆議院議員来庁
25火　天城町ウオーキングミュージアムロケハンツアー
　　日本エアコミューター（株）取締役会（ＷＥＢ会議）
27木　第３次食育推進計画策定委員委嘱状交付式
29土　赤土新バレイショ「春一番」出発式（徳之島町）

令和４年２月

日・曜日・諸会議・行事等報告

1火　職員全体朝礼（庁舎内放送）
　　県糖業振興協会理事会（ＷＥＢ会議）
　　天城町の未来を考える会（意見交換会）
3木　天城町ゆたかなふるさと基金運営協議会
4金　天城町教育文化の町推進本部会
9水　天城町清掃事業審議会委員委嘱状交付式
10木　天城町未収金徴収特別対策会議
14月　寄附金贈呈式（渕上建設工業様）
15火　徳之島における病床確保に関する要望書提出（大島支庁長）
16水　市町村長会他各種会議（奄美市）
21月　徳之島地区合同選果場建設について要望受く
　　３町長宮上病院訪問（病床確保要望協議）
22火　与名間分校新校舎建設推進委員会
　　陳情受く
　　天城町行政改革推進本部会
　　日本エアコミューター（株）取締役会（ＷＥＢ会議）
23水　天城町コロナ対策本部会議（第34回）
24木　県町村会定期総会他会議（鹿児島市）
25金　徳之島黒糖焼酎と物産フェア（鹿児島市）
　　知事との面談（鹿児島市）
26土　天城町自衛隊入隊者壮行激励会
　　天城町コロナ対策本部会議（第36回）
28月　徳之島用水土地改良区理事会
　　徳之島の医療と福祉を考える会（徳之島町）
　　天城町コロナ対策本部会議（第37回）